

5. 調査票

5.1.児童・生徒票

5.2.保護者票

5.3.施設票

じどう せいとよう
児童・生徒用

ID ああ-000

いばしょ かん じったいちょうさ こどもの居場所に関する実態調査

がっこうせいかつ かん かいとう
学校生活に関するアンケートへの回答をおねがいします。

《このアンケートについて》

このアンケートは、みなさんがいつもどのような場所^{ばしょ}で過^すごしたり、これからどんな場所^{ばしょ}で過^すごしたいかというみなさんの気持ち^{きも}を教^{おし}えてもらい、みなさんのこれから^{いばしょ}の居場所（あんしんしてすごせる場所^{ばしょ}）について考^{かんが}えるためのアンケートです。

みなさんのいま^{いま}の気持ち^{きも}を教^{おし}えてもらえると嬉しいです。

こえ き
あなたの声を聞かせ
てください。

《アンケートの内容について》

- ① あなたのこ^こと（学年^{がくねん}など）
- ② 居場所^{いばしょ}（あんしんしてすごせる場所^{ばしょ}）のこ^こと
- ③ 学校^{がっこう}に行けなくなった（行か^いなくなった）ときのこ^こと などを聞^きかせてください。



《アンケートに答^{こた}えるときのことについて》

- ・ 答^{こた}えたくない質問^{しつもん}には答^{こた}えなくて大丈夫^{だいじょうぶ}です。
- ・ 答^{こた}えていて「つらい、答^{こた}えたくない」と思^{おも}ったら、とちゅうでやめても大丈夫^{だいじょうぶ}です。
- ・ みなさんの答^{こた}えが、学校^{がっこう}の先生^{せんせい}や知^しり合^あいに伝^{つた}わることはありません。アンケートの保^ほ管^{かん}もちゃんとルールにそ^{おこ}って行^いいます。
- ・ 質問^{しつもん}の意^い味^みがわかんないときは、家^か族^{ぞく}やあな^{しん}た^{らい}が信^お頼^とできるとおも^おう大^お人^とに相^{そう}談^{だん}してくださ^いい。

ねん がつ にち きん かいとう ねが
2025年1月31日(金)までに回答をお願いします

《アンケートに答える方法について》

- ・このアンケートにそのまま書くか、スマートフォンやタブレットで答えられます。
- ・このアンケートにそのまま書くときは、いっしょに届けた封筒に入れてポストに入れてください。

- ・スマートフォンやタブレットで答える場合は、右の2次元
バーコードを読み取るか、下のアドレスにアクセスしてください。

<https://forms.gle/MLzB2IpU4RS2Tfi6>

- ・スマートフォンやタブレットでアクセスしたら、

まずはアンケート画面の最初の画面に右のIDを

入力してください。

ID	ああ-000
----	--------

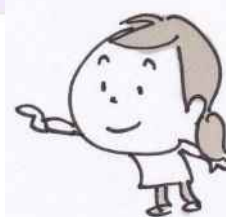
IDをここに入力してね！

2025年1月31日(金)までに回答をお願いします

* 必須の質問です

アンケートにあるIDを入力してください *

回答を入力



- ・回答にはあなたの名前を書かないでください。回答のあとは、どの回答が誰の回答かわからないので、「やっぱり答えたことを取り消して！」ができません。そのことはわかっていてください。

※ご協力、よろしくおねがいします。

わからないことがあれば 鹿児島県子ども福祉課子ども支援係 099-286-2809 までご連絡ください。

質問は全部で10問になります。全て答えても答えなくても大丈夫です。

I あなたの^{おし}ことについて教えてください。

I-1 あなたの^{がくねん}学年を^{おし}教えてください。(番号に○を付けてください)

1. 小学1年生 (1年生)	2. 小学2年生 (2年生)	3. 小学3年生 (3年生)
4. 小学4年生 (4年生)	5. 小学5年生 (5年生)	6. 小学6年生 (6年生)
7. 中学1年生 (7年生)	8. 中学2年生 (8年生)	9. 中学3年生 (9年生)
10. 高校1年生	11. 高校2年生	12. 高校3年生

I-2 あなたの^{せいべつ}性別を^{おし}教えてください。

(番号に○をつけてください。答えたくないときは答えなくても大丈夫です。)

1. 男性 ^{だんせい} (おとこのこ)	2. 女性 ^{じょせい} (おんなのこ)	3. 答えたくない
-------------------------------	-------------------------------	-----------

I-3 ^{いっしょ}一緒に^す住んでいる^{かぞく}ご家族を^{おし}教えてください。番号にぜんぶ○をつけてください。

1. おとうさん	2. おかあさん	3. おじいちゃん
4. おばあちゃん	5. きょうだい	6. しんせき
7. その他 ^{ほか} (^{ひと} どんな人か ^か 書いてください)		
()		

^{つぎ}
※次のページにつづきます

2 学校に行けなくなった（行かなくなった）ときのことを教えてください。

2-1 あなたが学校に行けなくなった（行かなくなった）とき、どんなところなら行きたいとおもいましたか。あてはまる番号にぜんぶ○を付けてください。

1. 何時にいてもいい（遅刻，早たいをしてもいいところ）
2. 何もしなくてもいい（いるだけでいいところ）
3. ゆっくり休めるスペースがある
4. ひとりきりになれるスペースがある
5. あなたの好きな教科（国語や算数など）や内容の勉強ができる
6. あなたの好きなペースで勉強できる
7. 自然がゆたかなところでいろいろな体験（自然を観察したり農業を体験したりなど）ができる
8. 音楽を楽しんだり、絵をかいたり、工作ができる
9. スポーツができる
10. 友だちと話し合っ^あてやり^きたいことをあなたが決めることができる
11. インターネットやゲームをしたり、動画を見たりできる
12. 特^{とく}にない
13. その他（くわしく書いてください）

(

)

2-2 あなたが学校に行けなくなった（行かなくなった）とき、どんなことをして過ごしていましたか。アからソのそれぞれについて、よくしている（いた）、ときどきしている（いた）、あまりしていない、していない、または、よく行（い）っている（いた）、ときどき行（い）っている（いた）、あまり行（い）っていない、行（い）っていない、のうち、あてはまるものに○をつけてください。

	よくしている（いた） （よく行っている（いた））	ときどきしている（いた） （ときどき行っている（いた））	あまりしていない （あまり行っていない）	して いない （行っていない）
ア とも 友だちに連絡する				
イ えすえぬえす SNSを見る				
ウ どうが 動画サイトで動画を見る				
エ TVなどを見て過ごす				
オ ゲームをする				
カ いえ 家で勉強する				
キ いえ 家でゆっくりする				
ク かじ てつだ ふく あう 家事やお手伝い（服を洗ったりご飯を作ったりなど）をする				
ケ そと 外に出かける				
コ としょかん こうみんかん い 図書館、公民館に行く				
サ びょういん い 病院に行く				
シ きょういくしえん 教育支援センターに行く…＊				
ス こ 子ども食堂に行く				
セ ほうかごとう フリースクールや放課後等デイサービスに行く				
ソ その他（ ほか くわしく書いてください）（ か ）				

＊：教育支援センターとは、これまで適応指導教室と呼ばれていたものの名前が変更になったものです。

3. フリースクールや放課後等デイサービスの^{ほう か ご とう}ことについてお聞かせください。

3-1 そのとき通^{かよ}っていたフリースクールや放課後等デイサービスでやってよかった、役に
立^{たの}った、楽し^{かつ とう}かった活動について、次の1～12から1番目から3番目まで選^{えら}んで、下^{した}
の^{わく なか ばん ごう か}枠の中に番号を書いてください。

※フリースクールや放課後等デイサービスに通^{かよ}ったことがない方は答^{かた}える必要^{こた ひつよう}はありません。

1. みんなと一緒^{いっしょ}に行^{おこな}う学^{がくしゅう}習
 2. ひとりで行^{がくしゅう}う学^{がくしゅう}習
 3. 社会^{しゃかい}を体^{たいけん}験する学^{がくしゅう}習（見^{けん}学^{がく}したり、職^{しょくば}場^{たいけん}を体^{たいけん}験したりなど）
 4. 自然^{しぜん}を体^{たいけん}験する学^{がくしゅう}習（自^{しぜん}然^{かんさつ}を観^{かんさつ}察したり、農^{のうぎよう}業^{ぎよう}をし^してみたりなど）
 5. 料理^{りょうり}を体^{たいけん}験する学^{がくしゅう}習（お菓^か子^しづく^りり、郷^{きようどしよく}土^ど食^{しょく}づく^りりなど）
 6. 音^{おん}楽^{がく}を楽^{たの}しんだり、絵^えをかいたり、工^{こうさく}作^{さく}がで^{がくしゅう}きる学^{がくしゅう}習
 7. スポー^{かつ とう}ツ活^{かつ とう}動
 8. 宿^{しゆくはく}泊^{たいけん}体^{じたく}験^{いがい}（自^{ぼしよ}宅^ね以^と外^との場^{がくしゅう}所^{がくしゅう}で寝^ね泊^とまりし^{がくしゅう}てみる学^{がくしゅう}習）
 9. 地^ち域^{いき}の人^{ひと}たちとの活^{かつ とう}動
 10. 子^こどもたち同^{どうし}士^{あそ}で遊^{あそ}ぶ
 11. 子^こどもたちで^このミー^こーテ^こィン^こグ
 12. その他^{ほか}（くわしく書いてください）
- （ ）

※1番目から3番目まで選^{えら}んで、下^{した}の枠の中に番号を書いてください。

ばんめ 1番目	ばんめ 2番目	ばんめ 3番目

3-2 フリースクールや放課後等デイサービスはあなたにとってどんな居場所ですか？

表の中で1から8のそれぞれについて、思う、少し思う、あまり思わない、思わないのうち、あてはまるものに○をつけてください。

※フリースクールや放課後等デイサービスに通ったことがない方は答える必要はありません。

	おも 思　　う	すこ　おも 少　し　思　　う	おも あまり思わない	おも 思　わ　な　い
1. ここになじみやすい				
2. 自由に話せる雰囲気がある				
3. ゆったりしていただける				
4. 友達と一緒に居られる場所				
5. 居心地がよい				
6. 自分は受け入れられている				
7. 楽にいられる				
8. 安心していただける				

※次のページにつづきます

4 学校に行けなくなった（行かなくなった）ときにあなたにどんなことが起こって、どんな気持ちだったかを教えてください。

※ 昔のつらいことなどを思い出して「いやだな」と思ったら答えなくても大丈夫です。

4-1 あなたが学校に行けなくなった（行かなくなった）きっかけについて、あてはまるものの番号にぜんぶ○を付けてください。

1. 勉強のこと

2. 学校のきまりやまわりの様子(校則、クラス分けなど)のこと

3. 先生や学校の人がいやだった（こわいな、会いたくないななど）

4. ともだちとなかよくなれなかったこと（ともだちがいない、なじめないなど）

5. いじめやひどいことをされたこと

6. 学校の中の様子や音、においなどが気になった

7. からだがきつかった（頭が痛い、おなかが痛い、はきけがしたなど）

8. 気持ちがおちこんだり、イライラしたりした

9. 朝起きようとしても起きられなかった

10. 学校に行こうとすると不安が強くなった（ドキドキしていけなかった）

11. おうちのことで学校に行くことができなかった

12. 家族との関係

13. 病気やけがで病院に入院したり通ったりしていた

14. 自分でもよく分からない

15. 特にきっかけはない

16. 学校に行かないといけなそうと思わない

17. その他(くわしく書いてください)

()

4-2 あなたが学校に行けなくなった（行かなくなった）きっかけがあったとき、まわりからどんなお手伝いがあったらよかったですか。あてはまるものの番号にぜんぶ○を付けてください。

1. 学校の先生に相談できること

2. 学校のカウンセラーに相談できること

3. 学校の友だちに相談できること

4. 家族（おとうさんやおかあさん、きょうだいなど）に相談できること

5. 病院の先生に相談できること

6. インターネットやSNSで相談できること

7. 家に相談できる人が来てくれること

8. おとうさんやおかあさんなど家族が相談できる場所があること

9. 学校のほかに勉強できる場所があること

10. 学校以外の居場所（遊んだり、ひとりですごせるところ）があること

11. 学校以外の相談できる場所があること

12. とくには思いつかない

13. その他(くわしく書いてください)

()

つぎ
※次のページにつづきます

- 5 これから先、あなたがどのように過ごしたいか、どんな場所に行きたいかについてした下のボックスに自由に書いてください。（特になければ、記入する必要はありません。）

アンケートは以上です。

大切な意見、想いを伝えてくださりありがとうございました。



保護者用

ID ああ-000

こどもの居場所に関する実態調査

この調査は、児童・生徒の皆さんがどのような場所で過ごしたり、今後どんな場所で過ごしたいか、今の居場所を選んだ理由やその背景などについて、現時点で 30 日以上、学校に行かれていない児童・生徒とその保護者の方にお聞きし、その内容を今後の県政に活かすために行います。

本調査は、お子様が在籍されている学校から児童・生徒とその保護者の方にお渡しすることを依頼したもので、鹿児島県はお名前等の個人情報は一切収集しておりません。

調査にご協力いただける保護者の方は、この調査票に直接ご記入の上、同封した封筒に入れて直接郵送していただくか、下記の二次元バーコードからフォームを用いてご回答ください。この調査票への回答と返送、もしくはフォームへの回答を以って調査に同意いただいたこととします。

回答期日は、令和 7(2025)年 1 月 31 日(金)までとさせていただきます。ご自宅など、安心できる環境で、自由なタイミングでご回答ください。体調など悪くなった場合は途中で回答をやめても構いません。

なお、本調査への回答は任意であり、回答をしない場合もお子様の学業の成績や保護者様自身の日常生活に係る不利益はありません。

回答は無記名でお願いします。なお、無記名での回答のため、回答後の内容について撤回は出来ませんので、ご了承ください。

この調査票には世帯ごとに集計するため、お子様・保護者それぞれに同じ ID を付与しております。ID は個人を特定できるものではありませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

皆さんの声をぜひ届けていただけたらと思います。調査へのご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

回答締切 令和 7(2025)年 1 月 31 日(金)

あなたの声を
聞かせてください。

※回答方法が裏面にあります。



実施主体 鹿児島県



調査委託業者 一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会



《アンケートの回答方法について》 かいとうほうほう

- ・このアンケートにそのまま書くか、スマートフォンやタブレットで答えられます。
- ・このアンケートにそのまま書くときは、いっしょに届けた封筒に入れてポストに入れてください。

- ・スマートフォンやタブレットで答える場合は、
みぎ 右の2次元バーコードを読み取るか、した 下のアドレス
にアクセスしてください。

<https://forms.gle/orAAUhw6b6uVUc3g9>



- ・スマートフォンやタブレットでアクセスしたら、
まずはアンケート画面の最初の画面に右のIDを
にゅうりよく 入力してください。

ID	ああ-000
----	--------

皆さんの声をぜひ届けていただけたらと思います。調査へのご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

回答締切 令和7(2025)年1月31日(金)

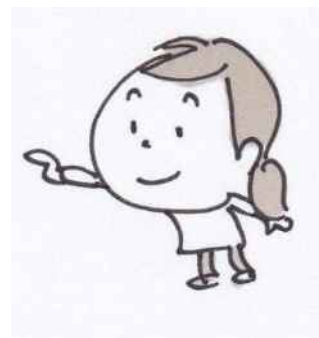
実施主体 鹿児島県 調査委託業者 一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会

* 必須の質問です

調査票に記載されたIDをこちらに入力してください。*

回答を入力

IDをここににゅうりよく入力



- ・回答にはあなたの名前を書く必要はありません。

※きょうりよくご協力いたのほど、よろしくおねがい致します。

ほんちょうさ かん おと い あ わ せ さ き
本調査に関するお問い合わせ先

かごしまけん こ ふくしか こ しえんがかり
鹿児島県子ども福祉課子ども支援係 099-286-2809

質問は最大で25問です。

1 お子様のことについて

1-1 お子様との続柄について教えてください。番号に○をつけてください。

1. 父	2. 母	3. 祖父	4. 祖母	5. その他 ()
------	------	-------	-------	---------------------------------

1-2 調査の対象となるお子様の学年を教えてください。(番号に○を付けてください)

1. 小学1年生 (1年生)	2. 小学2年生 (2年生)	3. 小学3年生 (3年生)
4. 小学4年生 (4年生)	5. 小学5年生 (5年生)	6. 小学6年生 (6年生)
7. 中学1年生 (7年生)	8. 中学2年生 (8年生)	9. 中学3年生 (9年生)
10. 高校1年生	11. 高校2年生	12. 高校3年生

1-3 お子様が学校に行っていない日数について教えてください。該当する番号に○を付けてください。 (土日祝や長期休暇など学校が休みの日は省きます)

1. 20～60日くらい (半月から2ヶ月)	2. 60～90日くらい (2ヶ月～3ヶ月)	3. 90～120日くらい (3ヶ月～4ヶ月)
4. 120日～180日くらい (4ヶ月～6ヶ月)	5. 180日以上 (6ヶ月以上)	

2 相談機関・支援機関の利用について

2-1 お子様が学校に行けなくなって(行かなくなって)から、学校の先生以外の相談機関・支援機関で相談をしましたか？(番号に○を付けてください)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

「はい」とお答えの方は、そのまま3へお進みください。

「いいえ」とお答えの方は、5へお進みください。

3. 相談機関・支援機関を利用している（利用していた）方

3-1 お子様が学校に行けなくなった（行かなくなった）とき、次の相談機関・支援機関等を利用している（利用した）、利用していない（利用しなかった）ものについて、下の表に✓（チェック）を付けてください。

相談機関・支援機関名	利用している （利用した）	利用していない （利用しなかった）
ア. スクールカウンセラー（SC）		
イ. スクールソーシャルワーカー（SSW）		
ウ. 医療機関		
エ. フリースクール		
オ. 放課後等デイサービス		
カ. 市町村教育支援センター ※		
キ. 鹿児島県総合教育センター（鹿児島市宮之浦町）		
ク. 市町村教育委員会		
ケ. 鹿児島県子ども総合療育センター（鹿児島市桜ヶ丘6丁目）		
コ. 鹿児島県精神保健福祉センター（鹿児島市小野町）		
サ. かごしま子ども・若者総合相談センター（鹿児島市鴨池新町）		
シ. 児童相談所		
ス. 子ども家庭支援センター ※		
セ. 指定・特定・一般相談支援事業所（障害）		
ソ. 子ども食堂（地域食堂）		
タ. その他		

※カ. 市町村教育支援センター（適応指導教室）とは、文部科学省が推奨する公的機関で、不登校などの理由で小中学校に通うことができない子どもを対象に、学習支援や相談、集団生活の練習などを行う施設です。

※ス. 子ども家庭支援センターとは、子どもや子育て世帯、妊産婦を対象に、医療・福祉・保育・教育などの多方面から継続して一体的な支援を行う施設です。

3-2 3-1で「タ. その他」にチェックをいれた活動または名称を教えてください。

下記の記載欄にご記入ください。

--

3-3 3-1で「利用していない（利用しなかった）」と回答した機関について、その理由を教えてください。下の表で、それぞれ当てはまる部分に✓（チェック）を付けてください。

相談機関・支援機関名	子ども が嫌が ったか ら	他の支 援機関 を利用 してい たから	利用料 が高い から	自宅か ら遠い から	知らな かった から
ア. スクールカウンセラー（SC）					
イ. スクールソーシャルワーカー（SSW）					
ウ. 医療機関					
エ. フリースクール					
オ. 放課後等デイサービス					
カ. 市町村教育支援センター					
キ. 鹿児島県総合教育センター（鹿児島市宮之浦町）					
ク. 市町村教育委員会					
ケ. 鹿児島県子ども総合療育センター（鹿児島市桜ヶ丘6丁目）					
コ. 鹿児島県精神保健福祉センター（鹿児島市小野町）					
サ. かごしま子ども・若者総合相談センター（鹿児島市鴨池新町）					
シ. 児童相談所					
ス. 子ども家庭支援センター					
セ. 指定障害者相談支援事業					
ソ. 子ども食堂（地域食堂）					

3-4 3-3で「知らなかったから」と回答した相談機関・支援機関について、情報を知っていたとすれば利用したかどうかを教えてください。

相談機関・支援機関名	利用 していた	利用するか 検討した	利用 しなかった
ア. スクールカウンセラー (SC)			
イ. スクールソーシャルワーカー (SSW)			
ウ. 医療機関			
エ. フリースクール			
オ. 放課後等デイサービス			
カ. 市町村教育支援センター			
キ. 鹿児島県総合教育センター (鹿児島市宮之浦町)			
ク. 市町村教育委員会			
ケ. 鹿児島県子ども総合療育センター (鹿児島市桜ヶ丘6丁目)			
コ. 鹿児島県精神保健福祉センター (鹿児島市小野町)			
サ. かごしま子ども・若者総合相談センター (鹿児島市鴨池新町)			
シ. 児童相談所			
ス. 子ども家庭支援センター			
セ. 指定・特定・一般相談支援事業所 (障害)			
ソ. 子ども食堂 (地域食堂)			

3-5 その他、相談機関・支援機関を利用しなかった理由があれば教えてください。

下記の記載欄にご記入ください。

--

3-6 相談機関や支援機関を利用するにあたって、お子様からの意見などあれば教えてください。あるいは保護者として困ったことなどあれば、下記の記載欄にご記入ください。

※3-1にて「エ. フリースクール」、「オ. 放課後等デイサービス」を「利用している（利用した）」と回答した方にお伺いします。

4. フリースクール、放課後等デイサービス等の利用状況等について

4-1 利用している（利用していた）施設を知ったきっかけを教えてください。

（当てはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください）

1. 学校からの紹介
2. 市町村教育支援センターからの紹介
3. スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）からの紹介
4. 公的な相談機関・支援機関からの紹介
5. 知人からの紹介
6. インターネット（ホームページ等）で見つけた
7. 事業所のチラシ
8. その他(詳細を下記の記述欄にご記入ください。)

4-2 利用している（利用していた）施設を選んだ理由を教えてください。

1～17のうち、1番目から3番目までを選び、枠の中にご記入ください。

1. 子ども自身が決めたから	
2. 自宅から距離が近かったから	
3. 費用面	
4. 学習内容（個別または集団での学習）	
5. 社会体験（あらゆる施設見学、職場体験など）	
6. 自然体験（自然観察、農業体験など）	
7. 調理体験（お菓子作りや料理など）	
8. 芸術・創作活動（音楽、美術、工芸など）	
9. スポーツ活動	
10. 医療的・心理的な支援（カウンセリング等）	
11. 保護者への支援	
12. 施設の雰囲気	
13. 利用者の雰囲気	
14. 体験利用があった	
15. 利用している児童・生徒の進路	1 番目
16. 口コミなどの評判	2 番目
17. その他	3 番目

4-3 「17.その他」を選ばれた方は、その理由を教えてください。

--

4-4 利用している（利用していた）施設のスケジュール（利用状況）を教えてください。

当てはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください

1. 週1～2回程度
2. 週3～4回程度
3. 週5～7回程度

4-5 利用にかかる費用について教えてください（1ヵ月あたり／円）

--

4-6 利用している（利用していた）施設に通い始めてから、お子様にどのような変化が見られたか教えてください。 1～10のうち、1番目から3番目までを選び、枠の中にご記入ください。

1. 家族との会話が增えた	
2. 友人との会話が增えた	
3. 施設のスタッフとのコミュニケーションが增えた	
4. 外出の機会が增えた	
5. 社会全般についての興味の幅が広がった	
6. 居場所を得ることができた	
7. 生活のリズムが整った	
8. 身体の不調を訴えることが減った	1 番目
9. 特になし	2 番目
10. その他	3 番目

4-7 「10. その他」を選ばれた方は、その変化についてご記入ください。
下記の記載欄にご記入ください。

--

4-8 お子様にとってやってよかった、子どもが積極的に取り組んでいた、子どもが楽しんでいた活動について教えてください。

1～12のうち、1番目から3番目までを選び、枠の中にご記入ください。

1. 個別の学習	
2. 集団での学習	
3. 社会体験（あらゆる施設見学、職場体験など）	
4. 自然体験（自然観察、農業体験など）	
5. 調理体験（お菓子作りや料理など）	
6. 芸術・創作活動（音楽、美術、工芸など）	
7. スポーツ活動	
8. 宿泊体験	
9. 地域活動	
10. 子ども同士で遊ぶ活動	
11. 子どもたちによるミーティング	
12. 相談、心理的な支援（カウンセリング等）	
13. その他	

4-9 「13. その他」を選ばれた方は、その活動内容を教えてください。

下記の記載欄にご記入ください。

--

4-10 利用している（利用していた）施設に対して、今後どのようなことを期待しますか。
1～12のうち、1番目から3番目までを選び、枠の中にご記入ください。

1. 学校に代わる学習機会の確保	
2. 民間施設独自の学習（学習機会）の充実	
3. 民間施設独自の体験の充実	
4. 居場所の提供	
5. 友人関係の構築	
6. お子様の特性や成長に合わせた支援の充実（発達障害等の支援を含む）	
7. 進学・就職のための支援の充実	
8. 生活リズムの構築	
9. 食事の機会の確保	
10. 外出する機会の確保	1 番目
11. 保護者への支援の充実	2 番目
12. その他	3 番目

4-11 「12. その他」を選ばれた方は、その内容を教えてください。
下記の記載欄にご記入ください。

--

4-12 お子様の今後について、現在考えていることを教えてください。

(当てはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください)

- 1. 在籍校への復帰
- 2. 引き続き民間施設の利用・通所
- 3. 在籍校と民間施設の併用
- 4. 子どもの意思に任せる
- 5. いまは特に考えていない

4-13 子どもの居場所として現在利用している施設等について困っていることなどあれば、ご記入ください。下記の記載欄にご記入ください。

5. お子様が学校に行けなくなって（行かなくなって）、学校の先生以外の相談機関・支援機関に相談をしていない方

5-1 お子様が学校に行けなくなった（行かなくなった）とき、どのような支援や提案、情報があつたらよかったと思いますか。当てはまる番号をすべて選び、○をつけてください（複数選択可）

- 1. 学校の先生への相談
- 2. 学校の先生による家庭訪問
- 3. スクールカウンセラー（SC）への相談
- 4. スクールソーシャルワーカー（SSW）への相談
- 5. 学校以外の勉強ができる場所の情報提供
- 6. 学校以外の居場所（遊んだり、ひとりで過ごせる場所）の情報提供
- 7. 学校以外の相談できる場所の情報提供
- 8. 相談できる病院の情報提供
- 9. インターネットやSNSでの相談
- 10. 自宅訪問による相談・支援
- 11. お子様の同級生や友だちからの声かけ
- 11. 保護者同士で悩みを語り合える場
- 13. 保護者の悩みなどを相談できる場所
- 14. 病気や障害等に対する周囲の理解
- 15. 病気や障害等についての相談・支援
- 16. その他
- 17. 特にない

5-2 「16. その他」を選ばれた方は、その内容をご記入ください。下記の記載欄にご記入ください。

--

5-3 以下に示す相談機関・支援機関について、今後利用してみたいと思うものがありますか。下の表の中で利用してみたい、利用しない、のどちらかに✓（チェック）を付けてください。

相談機関・支援機関名	利用してみたい	利用しない
ア. スクールカウンセラー（SC）		
イ. スクールソーシャルワーカー（SSW）		
ウ. 医療機関		
エ. フリースクール		
オ. 放課後等デイサービス		
カ. 市町村教育支援センター		
キ. 鹿児島県総合教育センター（鹿児島市宮之浦町）		
ク. 市町村教育委員会		
ケ. 鹿児島県子ども総合療育センター（鹿児島市桜ヶ丘6丁目）		
コ. 鹿児島県精神保健福祉センター（鹿児島市小野町）		
サ. かごしま子ども・若者総合相談センター（鹿児島市鴨池新町）		
シ. 児童相談所		
ス. 子ども家庭支援センター		
セ. 指定障害者相談支援事業		
ソ. 子ども食堂（地域食堂）		
タ. その他		

5-4 「タ. その他」を選ばれた方は、その相談機関・支援機関を教えてください。下記の記載欄にご記入ください。

--

6. お子様が学校に行けなくなった（行かなくなった）きっかけについて

6-1 お子様が学校に行けなくなった（行かなくなった）きっかけとなった出来事などあれば教えてください。当てはまる番号をすべて選び、○をつけてください（複数選択可）

- 1. 勉強に関すること
- 2. 学校のルールや環境（校則、クラス分けなど）に関すること
- 3. 教師や学校関係者との人間関係
- 4. 友だち同士の人間関係（仲のいい友だちがいない、なじめないなど）
- 5. いじめなどのつらい経験
- 6. 学校の雰囲気や音、においなどが気になった
- 7. からだがきつかった（頭が痛い、おなかが痛い、吐き気がしたなど）
- 8. 気持ちが落ち込んだり、イライラしたりした
- 9. 朝、起きようとしても起きられなかった
- 10. 学校に行こうとすると不安が強くなった
- 11. 家庭の事情
- 12. 家族との人間関係
- 13. 病気やケガで入院や通院をしていた
- 14. よくわからない
- 15. 特にきっかけはない
- 16. 学校に行く必要を感じていない
- 16. その他

6-2 「16. その他」を選んだ方は、その内容をご記入ください。

下記の記載欄にご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



ID

—

こどもの居場所に関する実態調査

実施主体 鹿児島県



この調査は、こどもの居場所としてのフリースクールや放課後等デイサービス事業所等について伺い、その内容を今後の県政に活かすために行います。

調査に協力していただける施設様は、この調査票に直接ご記入の上、同封した封筒に入れて直接郵送していただくか、下記の二次元バーコードからフォームを用いてご回答ください。この調査票への回答と返送、もしくはフォームへの回答を以って調査に同意いただいたこととします。

回答期日は、**令和 7(2025)年2月7日(金)まで**とさせていただきます。

なお、本調査への回答は任意であり、回答をしない場合も貴施設が不利益を被ることはありません。調査実施時に、本調査の回答の有無、内容についても同様に不利益を被ることはありませんので、安心して回答の有無をご判断ください。

貴施設の活動内容や運営上の課題等をぜひ教えていただきたいと思います。調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

回答締切 令和 7(2025)年2月7日(金)

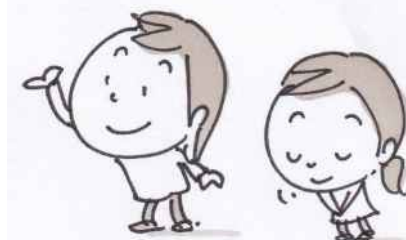
回答フォーム(2次元バーコード)(下記 URL もご利用できます)



<https://forms.gle/GTmZ1JyxatXdcoca7>

フォームを利用して回答する際には、初めに右上の ID を入力してご回答ください。(詳細は裏面を参照)

貴施設の声
聞かせてください。



調査委託業者 一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会
問い合わせ先 080-9064-4462(事務局)
対 応 時 間 月～土(火曜除く)9時～17時



こどもの居場所に関する実態調査

実施主体：鹿児島県

この調査は、こどもの居場所としてのフリースクールや放課後等デイサービス事業所等について伺い、その内容を今後の県政に活かすために行います。

調査に協力していただける施設様は、この調査票に直接ご記入の上、同封した封筒に入れて直接郵送していただくか、下記の二次元バーコードからフォームを用いてご回答ください。この調査票への回答と返送、もしくはフォームへの回答を以って調査に同意いただいたこととします。

回答期日は、令和7(2025)年2月7日(金)までとさせていただきます。

なお、本調査への回答は任意であり、回答をしない場合も貴施設が不利益を被ることはありません。調査実施時に、本調査の回答の有無、内容についても同様に不利益を被ることはありませんので、安心して回答の有無をご判断ください。

貴施設の活動内容や運営上の課題等をぜひ教えていただきたいと思います。調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

回答締切 令和7(2025)年2月7日(金)

調査委託業者：一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会

* 必須の質問です

貴施設の声を聞かせてください。



調査票に示したIDを入力してください。*

回答を入力



ID	—
----	---

Web フォームをご利用の方は、最初の質問に入る前に ID をご入力の上、回答をお願いします。ID は、調査票 1 枚目の右上と上記 ID 欄に記載してあります。

調査票と Web フォームで回答が重複することを避けるための処理になります。

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

1-1 法人格等の種類について、該当番号に○をつけてください。

- 1-2 法人が活動している市町村名をご記入ください。(法人所在地、事業所設置市町村)

法人所在地
事業所設置市町村名

- | |
|--|
| |
|--|

- 常勤(名) 非常勤(名) ボランティア(名)

- スタッフ 1 名につき()名

- また、その資格を持っているスタッフ数を下記の()の中にご記入ください(重複可)。

1. 教員免許	()名	2. 臨床心理士	()名
3. 公認心理師	()名	4. 社会福祉士	()名
5. 精神保健福祉士	()名	6. 看護師	()名
7. 特になし	()名		
8. その他(具体的にご記入ください)		()名	
〔			〕

1-7 フリースクールなどの活動場所について該当番号に全て○をつけてください。(複数回答可)

1. 一軒家 2. マンションやビルの一室 3. ビル等のワンフロア使用 4. フリースクールとして使用できる専用の校舎 5. 既存の学校(または廃校となった学校)の校舎、空き教室 6. 活動場所は固定していない 7. その他(具体的にご記入ください) []

1-8 屋外での活動の場所について該当番号に全て○をつけてください。(複数回答可)

1. 公園 2. 公共施設(図書館、体育館など) 3. 敷地内に屋外活動ができる場所がある 4. 屋外で活動していない 5. その他(具体的にご記入ください) []
--

1-9 施設の開所日・時間について教えてください。下記の表に曜日ごとにご記入ください。

また、各開所日・時間ごとの平均的な利用人数を隣の欄にご記入ください。

	午前	人数	午後(放課後除く)	人数	放課後	人数
月曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
火曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
水曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
木曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
金曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
土曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
日曜日	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人
祝日など	: ~ :	人	: ~ :	人	: ~ :	人

2-1 受入対象年齢について当てはまる番号に全て○をつけてください。(複数回答可)

1. 未就学児	()名
2. 小学生	()名
3. 中学生	()名
4. 高校生	()名
5. その他	()名
6. 合計	()名

--

3-1 貴施設の役割をどのように考えていますか。最も該当する番号に一つ○をつけてください。

3-2 主な活動内容について、該当番号に全て○をつけてください。(複数回答可)

1. 個別の学習	2. 授業形式(講義形式)による学習
3. 社会体験(見学、職場体験など)	4. 自然体験(自然観察、農業体験など)
5. 調理体験(お菓子づくり、郷土食づくりなど)	6. 芸術・創作活動(音楽、美術、工芸など)
7. スポーツ活動	8. 宿泊体験
9. 地域活動	10. 子どもたちによるミーティング
11. 相談、カウンセリング	12. 保護者同士の交流の場
13. 発達障害等の支援	14. 居場所の提供
15. その他(具体的にご記入ください)	
[	]

3-3 貴団体で実施する活動内容のうち、子どもへの支援について特に効果を高めると考えられる取組とその効果を下記の記述欄に具体的にご記入ください。(自由記載)

--

3-4 貴団体の活動内容を、不登校やひきこもりの子どもやその保護者に周知するために、どのような方法が有効だと考えていますか。下記の記述欄に具体的にご記入ください。

--

3-5 児童生徒の個別支援計画の策定の有無について○を付けてください。（ 有 ・ 無 ）

3-6 (3-5)が有の場合、保護者に個別支援計画を示していますか。下記に○をつけてください
(示している ・ 示していない)

3-7 (3-6)で「示していない」場合、その理由があれば下記の記述欄にご記入ください。

--

4 フリースクール等の運営(入会金等)の状況について伺います。

4-1 フリースクール等の入会金・初期費用の金額を教えてください。

下記の記述欄にご記入ください。

4-2 フリースクール等の授業料の金額を教えてください(日額・月額等)。

下記の記述欄にご記入ください。

4-3 その他、保護者から徴収する費用があれば教えてください(名目、金額など)。

下記の記述欄にご記入ください。

4-4 減免制度の有無を教えてください。該当番号に全て○をつけてください。(複数回答可)

1. 「きょうだい」による利用
2. 「生活困窮世帯」による利用
3. 減免制度はない
4. その他(具体的にご記入ください)

(

)

4-5 減免制度の内容について下記の記述欄に具体的にご記入ください。(自由記述)

5 在籍校・関係機関等との連携の状況について教えてください。

5-1 在籍校・関係機関等との連携実績・頻度について、毎日、週1回以上、月1回以上、年数回程度、連携していない、のうち、それぞれ最も当てはまるものに○をつけてください。(令和5年度実績)

1. 在籍校	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
2. 在籍校以外の学校	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
3. 教育支援センター	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
4. 市町村教育委員会	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
5. 市町村の福祉部局	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
6. 社会福祉協議会	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
7. 医療機関	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
8. かごしま子ども・若者総合相談センター	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
9. 児童相談所	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
10. 他のフリースクール等	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
11. 相談支援事業所	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない
12. その他()	毎日	週1回以上	月1回以上	年数回程度	連携していない

5-2 連携内容について、下記の記述欄に具体的にご記入ください。(自由記述)

5-3 貴施設が感じている在籍校・関係機関との連携上の課題について、当てはまるものの番号に全て○をつけてください。(複数選択可)

1. 担当者(担任等)が繁忙で連絡がつきにくい

2. 担当者(担任等)が異動等で変わるため、継続的な関係性構築が難しい

3. 個人情報の共有に障壁があり、情報共有がしにくい

4. 自団体・施設の認知度が低い・知られていない

5. 自団体・施設の教育方針や活動内容に理解が得られない

6. 在籍校・関係機関のどこに連絡をすれば良いか分からない

7. 自団体・施設に通う児童生徒のことを気にかけてもらえない

8. 特にない

9. その他(具体的にご記入ください)

6 フリースクール運営の課題等について教えてください。

6-1 貴施設が考えるフリースクール運営や児童生徒の支援に関する課題について、当てはまるものうち、上位3つの番号をそれぞれ下のボックスの中に順位ごとにご記入ください。

1. 人材の確保が困難
2. スタッフへの研修が不十分
3. 専門職による支援が必要な児童生徒の増加(障害、発達特性、外国籍、希死念慮等)
4. ICT機器への対応
5. 家庭への支援
6. 活動場所(施設)の確保、老朽化
7. 設備(調理場、実験器具、その他用具等)の不足
8. 児童生徒・保護者に対する施設周知の不足
9. 学校・行政機関等に対する施設周知の不足
10. 学校・行政機関等との連携・つながり不足
11. 他のフリースクール等との連携・つながり不足
12. 生活困窮世帯への対応
13. 進学や就職についての見通しを示せない
14. 特に課題等はない
15. その他(具体的にご記入ください)

--

1 位	2 位	3 位

6-2 貴施設において子ども本人の意見を居場所づくりや活動内容等に反映させる取組を実施している場合は、下記の記述欄に具体的にご記入ください。(自由記述)

--

6-3 ホームページやリーフレット等による情報公開の状況について、それぞれ当てはまるものに全て○をつけてください。

1. 施設の運営方針	公開している	公開していない
2. 施設が提供する学びや活動内容	公開している	公開していない
3. 様々なケースに対する支援例	公開している	公開していない
4. コース・料金	公開している	公開していない
5. スタッフ・施設紹介	公開している	公開していない
6. 児童生徒・保護者の声	公開している	公開していない
7. 学校との連携状況	公開している	公開していない
8. その他(具体的にご記入ください)		

6-4 貴施設の安全確保対策の状況について、実施している、実施していない、のうち、当てはまるものに全て○をつけてください。

1. 災害時における避難経路の確保	実施している	実施していない
2. 災害時における避難マニュアル(計画)の策定	実施している	実施していない
3. 避難訓練の実施	実施している	実施していない
4. 損害賠償保険への加入	実施している	実施していない
5. その他(具体的にご記入ください)		

6-5 鹿児島県ホームページ等において貴施設情報の掲載をする場合、ご協力いただけますか？
可否についてご回答下さい。下の可否から選んで○をつけてください。

(可 ・ 否)

6-6 6-5が可だった場合、施設名と代表者名(職名)を教えてください。下記の記述欄にご記入ください。

施設名	
代表者名(職名)	

6-7 令和 7 年度に鹿児島県がフリースクールに関して、直接ヒアリングを行う場合、ご協力いただけますか？可否についてご回答ください。下の可否から選んで○をつけてください。

(可 ・ 否)

6-8 6-7が可だった場合、御連絡先を下記の記述欄にご記入ください。

電話番号	
メールアドレス	
ご担当者名	

調査は以上になります。ご協力いただき、ありがとうございました。



6. 執筆者一覧

- ・学校法人志學館学園 志學館大学

法 学 部 法ビジネス学科 教 授 近藤 諭 (調査全体の分析と執筆)

人間関係学部 心理臨床学科 准教授 花形 武 (児童・生徒調査の分析と執筆)

講 師 吉川 直人 (保護者調査の分析と執筆)

講 師 中條 大輔 (アンケート調査票構成・

調査全体の分析と執筆)

講 師 森 実紀 (アンケート調査票構成)

- ・認定 NPO 法人育て上げネット

理事長 工藤 啓 (「調査結果に基づく有識者の分析について」の執筆)

- ・一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会 (ワークショップ企画・運営と執筆)